

全国総合文化祭（美術工芸部門）

美術部では、2年次生の西田凧沙さんが兵庫県より選出され、7月30日より広島で開かれている全国総合文化祭 美術・工芸部門に参加しました。



30日の13:00より兵庫県立騒動体育館で総合開会式が行われました。開会式は3部構成で、第1部 式典、第2部 交流（宮城と広島2県の交流ステージ、海外招へい校によるステージ）第3部 開催県発表、で郷土芸能や、書道パフォーマンス、被ばくピアノ演奏と朗読などが素晴らしい発表が行われました。特に原爆の日を1週間後に控えた広島県の高校生として、歴史を背負い、平和を受け継ぐ強い意志を感じました。その後、全国から65校、約2000人によるマーチングバンド&バトントワリングが平和記念公園前の平和大通りをパレードしました。



7月31日は朝の9時から部門別開会式が行われ、明治学院大学文学部芸術科教授 山下裕二先生による講演会と講評会が行われました。その後、全国の高校生がグループになって、交流会が行われ、けん玉交流をし、広島県立美術館に展示してある全国の代表作品を鑑賞しました。



広島県の高校生がリーダーとなり、対話をしながらの鑑賞会となりました。熱心にグループで各自の作品を説明する姿が見られました。

